



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3571 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

令和4年(2022年)
2月7日
月曜日
第244号

学び続ける教職員を支援します！ ICT活用を推進するあすなろの挑戦



静岡県総合教育センターでは、令和3年度から、はごろも教育研究奨励会の支援で整備したネットワーク環境やChromebook、iPad等の端末を駆使し、ICTを活用した新たな研修づくりに挑戦しています。研修を受講した教職員の皆様にご協力いただきながら実施した私たちの取り組みを紹介します。

集合研修

ChromebookやiPadをグループワーク等で使用しています。実際にICT機器を使うことで、研修員の皆様に、授業や校務で生かしていただけるような学びを提供しています。

オンライン研修

8月から10月までオンラインでの研修を実施しました。Zoomのブレイクアウトルームを使い、画面上で顔を合わせて、グループ協議を実施することができました。

学校等支援研修

学校からの要請に応じて支援を実施しています。学校訪問して行う研修に加え、要望に応じて、Zoom等を活用してオンラインでの支援も実施できるようになりました。



※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、1月18日以降、センターが主催する研修等はオンラインで実施あるいは中止としています。

😊皆様のご意見をお寄せください!!

来年度に向け、皆様の声を基にさらに改善に努め、ICT活用の幅を広げた研修を通じ、学び続ける教職員の支援の充実を図ります。これからのセンターの研修をいっそう充実させるため、ICTを活用した研修のあり方について皆様からのご意見を集めています。アンケートにご協力ください。

アンケートはこちら



研修管理システム(<https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/>)



受講する研修に関する最新情報が表示されます



受講中のeラーニングに関する情報が表示されます

受講中の集合研修に関する情報が表示されます



受講した研修を確認できます。静岡県教員育成指標を参照し、キャリアステージで求められる資質能力を確認した上で、受講する研修を選択するといいでしょ。

受講履歴の確認方法は



令和2年9月に研修管理システムが導入されました。希望研修の参加申込やこれまでに受講した研修の受講履歴^{※1}の確認をすることができます。また、eラーニング受講管理機能もあり、受講申込、動画視聴、PDFファイルのダウンロードなど、すべてシステム内で完結します。さらに、システムを通じて、アンケートに回答したり、課題を提出したりすることもできます。総合教育センター主催研修についての、必要な情報が一括して入手できるようになりました。メールアドレスが登録されている方^{※2}には、研修主催者から受講する研修の最新情報をメールでお届けします。(システムにログイン後に表示される「メッセージ」欄でもお知らせします。)

※1 研修の受講履歴は、平成27年度以降のセンター主催研修及び一部の本庁主催研修を登録しています。

※2 県立学校の教職員は、NESのメールアドレスを登録済みです。

小中学校の教職員は、業務でお使いのメールアドレスをぜひご登録ください。登録方法は

こちら



集合研修とeラーニングを一元管理する静岡県のシステムは他県からも注目されています!



実践NOTE

学校目線で考える 業務改善

教育総務課 人事班 主事 中澤 修斗

はじめに

静岡県教育委員会では、令和2年度から2カ年計画で「学校の働き方改革推進プロジェクト」を設置し、教育の質の向上、教職員の心身の健康保持増進を目指すため、教育委員会と学校が一体となって学校の働き方改革に取り組んでいます。その中のプロジェクトの一つである「教育委員会事務局業務改善PT」(業務改善PT)の取り組みについて紹介します。



筆者(真ん中)

学校目線で考える

業務改善PTでは、事務局職員で構成する職種混合(教育職員・行政職員)



報告会での成果発表



表1:令和2年度 業務改善活動の流れ

の業務改善チームが学校目線で学校の負担軽減策

実現に向けて

令和2年度に各チームから生み出された学校の負担軽減につながるアイデア(表2)は、学校現場での実現に向けた調整を引き続き行っています。また、令和3年度も学校の負担軽減に向け、各チームで活動中です。

業務改善の意識を持ち帰る

業務改善PTのメンバーは、年度ごとに交代していきませんが、業務改善PTで培った「業務改善の意識」を各所属における日々の業務につなげて、将来的



最優秀賞チーム表彰(「学校の働き方改革推進賞」授与)

業務改善アイデア

A	小さなことから大きな改善へ	文書送付ルール、要綱要領DB整理等学校のかゆいところに手が届く改善
B	アンケート調査の効率化	Googleフォームを活用した調査方法で迅速かつ容易に自動集計実現
C	オンデマンド説明会開催手引作成	「手軽に、早く、動画を作成する方法」をプロデュースし、手引き化

表2:令和2年度の業務改善アイデア

にも、その意識が教育現場全体に浸透していくことを願っています。

教職員の皆さまへ

現在、学校現場においても業務多忙な中、業務改善活動に日々取り組んでいただいていることと、思います。大切なことは、業務改善に向けた意識と小さな積み重ねです。日頃、何気なく工夫している一つ一つの行動が業務改善の小さな芽となっています。その行動は、皆さまの職場環境や働きがいの向上、そして児童生徒の教育の質の向上につながるものなのです。自分たちのため、児童生徒のためにも、これからの工夫を凝らし、小さな芽を育て続けましょう!

実践NOTE

ワクワクが未来を創る

下田市立下田東中学校 教諭 佐々木 浩彦



第15回の様子(筆者左)

ワクワクするアイデア

下田市では、令和4年4月の4中学校統合による新中学校開校を契機として、未来の下田を担う人材を育成する新たな学校づくりを進めています。その準備部会の一つである「未来の下田創造プロジェクト部会(PJ部会)」では、未来を担う人材の姿や、それを育てる学校や地域のあり方について、夢を語りアイデアを構想しています。メンバーは、小中教職員、保護者、地域、大学、行政、また、臨時部会員として生徒も参加しました。会議では、バックキャストイ



第15回生徒参加の様子

経験をデザイン

この部会は、静岡大学教職大学院派遣中、筆者が仲立ちとなつて、学校、行政と協働で立ち上げ、4年間で18回開催しました。大きな成果としては、人材育成に必要な経験を

未来の下田創造プロジェクト部会 27名

コーディネーター 4名
 オブザーバー 2名
 事務局 10名
 事務局員 10名
 事務局員 6名
 事務局員 2名
 事務局員 1名
 事務局員 1名

部会の構成メンバー

12のキーワード(PJ部会)

- 1 ワクワクする機会
- 2 未来の自分についてじっくり考える機会
- 3 下田にいる身近な大人にこれかを聞く機会
- 4 社会の仕組みについて知る機会
- 5 未来を担う35歳世代から受け入れてもらえるという安心感を感じる機会
- 6 ここには私の居場所があるという誇りや安心感を感じる機会
- 7 活動から共感や承認を得られる機会
- 8 外界を知ることで下田のよさに気づく機会
- 9 自らの強みや弱みによって、新しく新しい世界を開拓する機会
- 10 人がらあなだが必要とされているという誇りや思いを得る機会
- 11 自らの存在意義を認められるという誇りや思いを得る機会
- 12 下田のよさを体験を通して感じる機会



第18回の様子



第17回(本年度1回目)の様子

参加者からは、「新しい下田が創れたらいいな」(生徒)、「来年度もぜひ参加し、生徒間、教員間の交流やその具体を考えた」(高校教諭)との感想を得ました。開校後もプロジェクト会議として開催予定で、小・中・高・地域の協働によりどのような取り組みに進化発展するのか、今からワクワクしています。



本年度より、地域連携を進める下田高校の協力を得て、学校長以下6人域のランドデザインを完成させました。

未来の自分についてじっくり考える

未来シミュレーション(未来の自分)作成
 マイターンシップ

第18回ワークシート

令和3年度「読書県しずおか」づくり優秀実践校及び優秀実践団体決定!

県教育委員会では、読書活動の推進において特色ある優れた実践を行っている学校や、団体・個人を顕彰しています。本年度の被表彰者については、以下のとおり決定しました。

「読書県しずおか」づくり優秀実践校

小学校の部

静岡市立番町小学校

学校図書館を活用した授業実践を数多く行っています。また、小中一貫グループ校と連携し、9年間の国語科・図書館利用の系統表作成、読書イベント等を行っています。

高等学校の部

県立三島北高等学校

図書委員がビブリオバトルを企画運営し、大会を実施しています。また、学校図書館に探究活動に関連する書籍コーナーを設けるなど、生徒の読書への興味・関心を高めています。

中学校の部

富士宮市立井之頭中学校

NIEに取り組み、新聞記事を要約する活動は本の内容を理解する際に生かされています。また、ビブリオバトルに全校で取り組み、新たな本と出会う機会となっています。

特別支援学校の部

県立沼津特別支援学校

高等部の生徒による園児や小学部の児童への読み聞かせや、教員がホームページでお薦めの本を動画で紹介することで、児童生徒の本への興味が広がっています。

「読書県しずおか」づくり優秀実践団体

藤枝子どもと本をつなぐ会(藤枝市)

図書館、小中学校、幼稚園、保育園等での読み聞かせを行うほか、家庭教育学級や幼稚園・保育園での保護者や教員向けの講演を行い、読み聞かせの大切さを伝えています。

どんぐりころころ(伊東市)

大池小学校やPTAと連携し、19年間にわたり月に1~2回の読み聞かせを行っています。活動を通して、子供たちは色々な本を知り、読書の楽しさを実感することができています。

令和3年11月30日(火)
教育長室にて
表彰式を行いました。



受賞おめでとう
ございます!



問 社会教育課 TEL 054-221-3160

報告 未来を切り拓く Dream授業・賀茂版 を実施しました!

令和3年11月20日(土)、賀茂地域1市5町の中学生を対象とした、「未来を切り拓くDream授業・賀茂版」を実施しました。

当日は、28人の中学生が参加し、賀茂地域に想いを寄せ力を尽くしている講師陣の講義後には、地域活性化のために何ができるのか、賀茂地域の魅力について議論しました。グループワークでは自分の意見をどんどん言い、昼休憩にはサポーターとして参加した大学生に質問していく生徒がいるなど、積極的な姿勢の生徒が多く見受けられました。

中学生からは、賀茂地域の未来に向けて「SNSによる魅力発信」や「賀茂地域が誇る自然を守りつつ、地域を発展させる」、「伝統を守る」などの意見が挙がりました。



【教育政策課】
TEL 054-221-3168

2022年4月1日から、成年年齢が18歳に引き下げられます!

民法改正により、2022年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。

引下げ後は、18・19歳でも親権者の同意を得ずに携帯電話やクレジットカードなどの契約を結ぶことができるようになります。しかし、未成年者取消権による保護の対象から外れ、悪質事業者のターゲットになる危険性が高まります。

消費者被害から身を守るためには、契約に関する基礎的な知識を習得する必要があります。高校生で成人となる生徒への消費者教育が非常に重要です。



『高校生消費者教育出前講座』を実施しています!

県では、令和2年度より、「高校生消費者教育出前講座」を実施しています。講座では、若者に多い消費者トラブルやその対処法などを学ぶことができます。

例年12月に、東部・中部・西部県民生活センターから県内公立高等学校、私立高校、特別支援学校(高等部)に、次年度の実施希望を伺っています。

保護者向けの講座にも対応できますので、実施を希望される場合は、県民生活課までご連絡ください。



『それってトラブル?やばい!? SOS!静岡県』

消費者トラブルに遭った際に解決の拠りどころとなる、若者向けの県公式サイト「それってトラブル?やばい!? SOS!静岡県」を開設し、若者の消費者トラブルの早期解決を支援しています。



【県民生活課】TEL 054-221-2175

「県議会高校出前講座」～高校生と県議会議員が政策議論!～

県議会では、若者の政治への関心を高め、県議会を身近に感じてもらうため、県議会議員が高校に出向いて生徒と意見交換を行う「県議会高校出前講座」を実施しています。令和3年度は県立学校3校、私立学校1校の計4校で実施しました。「住みやすい地域づくりのために、高校生ができること」などのテーマや身近な話題などについて、生徒たち7人程度のグループに県議会議員が1人ずつ加わり、盛んな意見交換が行われ、実施校からは大変有意義な機会だったとの感想が寄せられました。令和4年度も実施予定ですので、授業やLHRなどを利用しての実施については是非ご検討ください。



出前講座実施後のアンケートでは、多くの生徒が、「議会や議員を身近に感じることができた」と答えています。

- 生徒からの感想**
- 政治参画について堅いイメージがあったが、自分の意見を表明する大切さを知った。
 - 県の魅力を話すことで県内に住み続けたい意欲が高まった。

県議会ホームページでは出前講座の様子を紹介していますので是非ご覧ください。
また、来年度の実施校募集については、お気軽に下記までお問合せください。

ホームページは
こちら



問 議会事務局政策調査課 TEL 054-221-3483 Eメール gikai_chousa@pref.shizuoka.lg.jp HP https://www.pref.shizuoka.jp/gikai/osirase/topics/031209topics_koukoudemae.html

学校向け「教材貸出」 「出張プログラム」をご活用ください!

県立美術館では、園児から高校生までを対象とした「教材貸出」や「出張プログラム」を実施しています。

当館の収蔵作品を手元で見られるアートカード、においが少なく扱いやすい造形活動用水粘土等の「教材貸出」や、学芸員や教育普及スタッフが直接学校を訪問する「出張プログラム」などがあります。

このほかにも、様々な体験プログラムをご用意しています。学校での教育活動に県立美術館をぜひご活用ください。

教材貸出

- アートカード
収蔵作品48作品を手元で見られます。



- レプリカ
屏風、彫刻、掛け軸等のレプリカがあります。



この他に粘土(遊び方ガイド付)、ロダン体操DVDなどがあります。

出張プログラム

教育普及スタッフや学芸員が学校の先生と相談の上、授業を進めます。授業の様子▶



公式ウェブサイト

問 静岡県立美術館 学芸課 実技室
TEL 054-263-5857

現在、第4回新刊サロン配信中!

令和4年2月15日(火)まで 第5回は2月25日(金)～4月22日(金)まで



新刊サロンの動画ができるまで...

- 本を読む**
担当職員5人で、3週間ほどかけて、200～300冊の新刊本すべてに目を通します。
- 選定するか考える**
選定基準に基づき、類書を読み比べながら、選定理由を明確にします。
- 選書会議で議論する**
あらすじや内容を話し、選定理由と対象年齢について議論します。その後で、読み直すこともあります。
- 収録・編集する**
選定した本の内容や選定理由についてスライドにまとめ、収録・編集をします。選定した本をリストにし、HPにアップします。



県立中央図書館公式YouTubeチャンネルに移動します。
※配信期間にご注意ください。

問 静岡県立中央図書館 資料課
TEL 054-262-1243 Eメール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

令和4年2月11日(金)祝 開催

第7回
ふじのくに
地域・大学フォーラム

—— 高校生の取組発表もあります! ——

自治体や企業からの地域課題に取り組んだ県内大学のゼミや学生団体、大学教員の地域研究、高校生の取り組みを発表します。さまざまな年代・ジャンルの発表や意見を聞いて、新たな交流が始まることを期待しています。オンライン開催なので、どの時間帯からでも視聴いただけます。ぜひお気軽にご参加ください。

公益社団法人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka
ふじのくに地域・大学コンソーシアム



- ◆事前申込先
- ◆プログラム
- ゼミ学生等地域貢献推進事業の成果発表
 - 共同研究助成事業の中間発表
 - 高校生の発表
→ 熱海高校、川根高校、榛原高校
 - 外国人留学生による日本語スピーチリレー

TEL 054-249-1818

東海道シグマは生活支援コーディネーターを配置し地域づくりのお手伝いをしています!

静岡市受託事業 介護保険法 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で長く生活が送れるように、困りごとをお聞きし、関係団体と解決を目指します。



支え合い活動とは? 活動に参加、利用してみませんか?

- | | | | |
|---|--|---|---|
| <p>生活の困りごと</p> <p>支え合い活動</p> <p>支え合いづくり</p> | <p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集い(交流)の場 ・健康づくり活動 ・趣味活動 ・カフェ | <p>生活支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出し ・片付け ・配食 ・安否確認 | <p>移動支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物 ・通院 |
|---|--|---|---|

静岡市生活支援コーディネーター募集中!

下記までお気軽にお問い合わせください

お問合せ先 運営:(株)東海道シグマ 地域福祉支援事業部 TEL 054-255-4259

静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F 人材派遣業(派22-010009)・人材紹介業(22-ユ-010028)

受付時間 / 平日9:00～17:30

東海道シグマ介護
https://sigma-jp.co.jp/education/kaigo_seikatsushien/

